

高次脳機能障害者への集団クリーニング訓練(実践の共同体)の驚くべき効果

なんのための研究？

この研究の目的は、

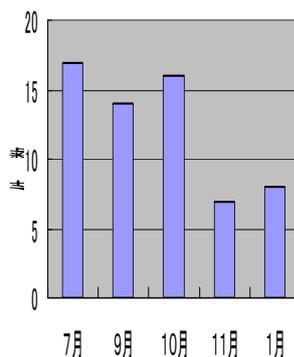
1. 集団クリーニング訓練が高次脳機能障害者の労働意欲や能力を高める効果があることを明らかにすることです。
2. なぜ効果があるのか、この訓練方法の特徴を明らかにし、高次脳機能障害者の一つの就労支援として確立することです。



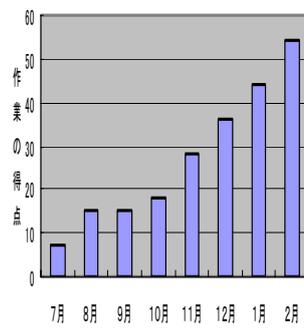
研究のポイントは？

- ・適切な「位相づけ」によって、本気で作業に取り組めます。その結果、問題行動が減少し、作業成績があがります。さらに、注意障害なども克服されます。
- ・「位相づけ」は大切な手続きですが、障害や個人にあった位相づけを探し出すことが求められています。

A氏の問題行動の激減に注目(11月以降)



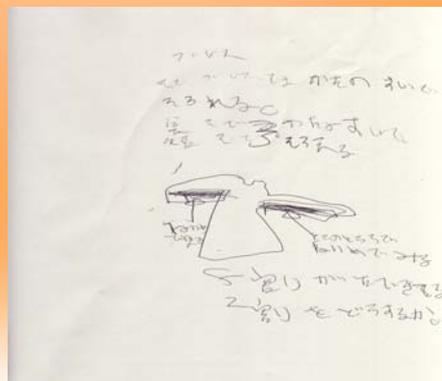
A氏の作業成績の向上(11月以降に注目)



普及に向けて

- ・効果の実証や位相づけの解明に専念しています。
- ・職リハ関連研究会などで研究発表を行い、本方法の確立・普及に向けた努力を行っています。

A氏の注意障害の克服
11月以降自らイラスト入りのノートを付け始める



研究代表者

国立身障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部
南雲直二 nagumo@rehab.go.jp

